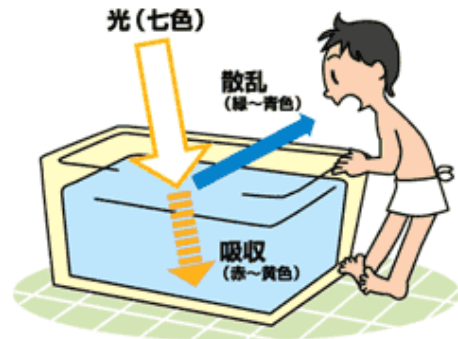


水道水に色がついているのですが？

1. 浴槽の水が青く見える

水は、可視光線のうち長波長(赤、橙、黄)の光を吸収し、中波長の(青、緑)の光を反射する性質があります。このため、光の散乱により水の色が青色や緑色に見えます。海や湖が青く見えるのと同じです。浴槽がアイボリーやホワイト系の色の場合は、この現象が顕著に現れます。



2. 洗面所やタイル等が青くなる

給湯設備等に使用している銅管類から溶出した銅が、せっけん等の脂肪酸類と反応して銅せっけんが生成します。この銅せっけんが、洗面所やタイル等に付着して青くなります。この銅せっけんの生成を防ぐには浴槽内、浴室タイル、洗面所などを清掃し脂肪分をきれいに洗い流すことが必要になります。

3. アルミニウム製品が黒くなる、白い斑点ができる

アルミニウム製品の表面は、アルマイト加工が施されています。このアルマイト被膜が劣化すると、水道水中の微量の鉄・銅と反応し、その部分は黒くなります。また、酸素と反応した場合は白くなります。

アルミニウム製品を長期に使用した場合、この現象は避けられないとされております。



4. 浴室、タイル、トイレ、等がピンク色になる

空気中の浮遊雑菌の中で霊菌と呼ばれる細菌が生息するとピンク色の色素を形成します。霊菌は汚れや湿気の多い浴室等で繁殖します。繁殖を防ぐには、湿気の多い場所(浴室・洗面等)の清掃や換気を十分に行ってください。漂白剤の使用も効果がありますが浄化槽を使用している場合は、注意が必要です。

